



日本初、EICC 基準を全面的に適用する「CSR 物流」の運用開始 DHL サプライチェーンと協働で物流取引先の CSR 活動を支援

2015年7月13日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山名 昌衛、以下 コニカミノルタ）は、このたび、DHL サプライチェーン株式会社（本社：東京都品川区、社長：ギャビン・マードック、以下 DHL サプライチェーン）と協働で、物流取引先の CSR 活動を支援する「CSR 物流」の運用を開始します。国際的に認められた EICC[※]基準を全面的に適用する「CSR 物流」の取り組みは、日本初となります。

※EICC(Electronic Industry Citizenship Coalition):電子業界のサプライチェーンにおける CSR 推進団体

【狙い】

コニカミノルタが従来から取り組んでいる「CSR 調達」に加え「CSR 物流」へとサプライチェーンにおける CSR 活動のスコープを拡大し、お取引先とともに、物流段階における人権、倫理、安全衛生、環境保全などの課題の改善や施策の強化に取り組めます。それにより、お取引先と協働で、社会的課題の解決を通じて社会に価値を提供するとともに、社会から信頼される企業としての価値を高めます。

【「CSR 物流」の概要】

1. 活動の内容

DHL サプライチェーンおよびその国内の物流取引先は、「コニカミノルタサプライヤー行動規範」に沿った CSR 活動を推進し、CSR アンケート診断に基づく改善活動を継続的に実施します。コニカミノルタは、DHL サプライチェーンと協働で物流取引先の改善活動の支援に取り組めます。

2. 活動の特長

「コニカミノルタサプライヤー行動規範」では、グローバル社会からの評価が高く、且つ労働・環境・安全衛生・倫理・マネジメントシステムの 5 側面全てで網羅性が高い EICC の行動規範が適用されます。EICC の仕組みを「CSR 物流」に活用し、国際社会から認められた高い基準を用いた、物流取引先の自立的な活動の支援を計画しています。

EICC 基準の 400 以上のチェック項目全てを使った CSR アンケート診断に物流取引先が取り組むのは日本で初めてとなります。

3. 運用開始時期

2015 年 7 月から運用を開始します。コニカミノルタは、DHL サプライチェーンと合同で、7 月 13 日に物流取引先への説明会を開催します。

【背景】

人権、倫理、安全衛生などに配慮した CSR 活動の推進に対する社会の要請は、ますます高まりつつあります。コニカミノルタでは、事業活動に不可欠なパートナーであるお取引先と協働で 2009 年度から「CSR 調達」を進め、取り組み強化のために 2013 年 10 月に EICC に加盟しました。世界の電子機器メーカーや大手サプライヤーなど約 100 社が構成する EICC の共通ツールを用いて取り組みの効率化、質の向上を図るとともに、従来からの多くのお取引先との協働活動を通じて「CSR 調達」のノウハウを蓄積しています。今年度より、コニカミノルタの「CSR 調達」のノウハウを物流取引先へ提供し、サプライチェーンにおける CSR 活動推進のスコープの拡大に取り組めます。

そのためには、LLP[※]としてコニカミノルタの国内物流を包括的に手掛ける DHL サプライチェーンとの協働により、同社の高い専門性や知見に基づいて具体的な活動を企画・運用することが必須と判断し、両社間で準備を進めてきました。

※LLP (リードロジスティクスプロバイダー): 企画立案・計画策定・オペレーションまでの一貫した包括的かつ戦略的なロジスティクスを提供する業者

これからも、コニカミノルタは、お客さまへの約束「Giving Shape to Ideas」のもと、社会的要請に沿ったサプライチェーンにおける CSR 活動全体の質と透明性の一層の向上に努めます。

関連リンク：コニカミノルタの CSR の取り組み <http://www.konicaminolta.jp/about/csr/>

本件に関するお問い合わせ先
コニカミノルタ株式会社 広報グループ TEL：03-6250-2100